

# 市民力かわら版

第49号

平成27年10月1日  
編集/市民力かわら版編集委員会  
発行/矢板市秘書広報課  
電話：0287-43-3764  
ファクス：0287-43-2292  
Eメール：  
yaita@city.yaita.tochigi.jp



## 矢板高校生が地域デビュー

社会福祉協議会は、平成二十七年新規事業として次世代を担う学生を対象に、思いやりの心を育んでもらうことを目的とした「福祉のこころ育成事業」を開始しました。

モデル校として、学生の地域活動を模索していた矢板高校を指定しました。この取り組みについて、社協の只木氏、佐川氏の二人にお話を伺いました。

### ●矢高と社協が連携

モデル校に指定された矢高には、全校生徒に社協による出前講座を受講していただき、地域福祉について理解を深めてもらいました。

矢高は、学校全体で学生の地域活動を推進することを掲げています。さらに、矢高の地域福祉活動を後押しするため、矢高を「福祉のこころ推進校」に認定し、社協と矢高が連携した福祉のまちづくり活動をスタートしました。

### ●矢高生が福祉活動を実践

地域福祉を理解した矢高生に、地域貢献として、①外出支援マップ協力店周知活動、②高齢者給食メニューの企画・調理参加、③さらさらサロンに参加、④児童館で学童と多世代交流など、さまざまな福祉活動に取り組んでもらっています。これからもボランティア活動に参加し、地域に貢献してほしいですね。

### 「福祉のこころ推進校」とは

市社協による出前講座を全校生徒が受講し、地域福祉を理解している学校として、市社協が認定します。

矢板高校以外にも、ほかの小・中・高等学校へ「福祉のこころ推進校」を広げ、次世代を担う学生に向けた福祉教育に取り組んでいます。

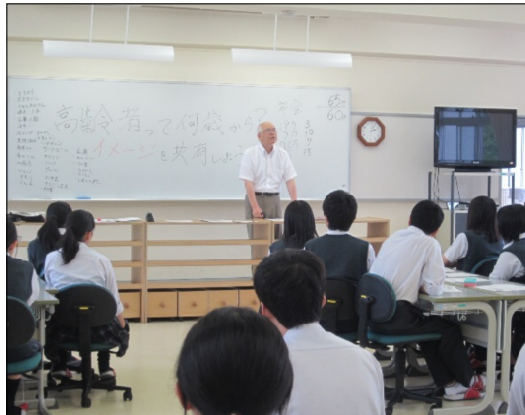
### 「外出支援マップ協力店」とは

高齢者や障がい者等、体の不自由な方でも安心して利用できる福祉のまちづくりの一環で、市内のお店などを「外出支援マップ協力店」に認定しています。

現在、商店やコンビニ、郵便局や金融機関など四十六カ所が認定されています。

### ①外出支援マップ協力店周知活動

●九月一日、矢高社会福祉科一年二十九名の生徒が、周知活動の事前学習として社協職員から「高齢者って何歳から？」を



熱心に話を聴く矢高生たち

テーマにした外出支援マップ協力店の福祉講座を受講し、外出困難者について学びました。

●九月十一日、矢高生二十九名と教員が協力店に向き、協力店店主から、外出支援の取り組みについて学びました。



お店の取り組みを聞き取り中

### （矢高生の声）

★文具店では、用途をお客さんに伺って、商品を探すのを手伝ってくれます。

★精肉店では、入り口付近にイス、机が置いてあり、お茶が用意されていました。また、どの料理にはどの肉が合うか、アドバイスをしてくれます。

★スポーツ用品店では、親身になって、用途に合わせた用具の選び方を教えてくれるので、安心して買物ができます。

矢高生たちは、高齢者に配慮したお店作りだと感心している様子でした。